

番号	施策-(C)	
	個別施策	指標
①	喫煙対策に関する効果的な普及啓発の実施	20歳以上の者の喫煙率
		受動喫煙の機会を有する者の割合 (職場・家庭・飲食店)
②	生活習慣の改善に関する効果的な普及啓発の実施	食塩・野菜・果物摂取量、運動習慣者の割合、リスク飲酒者の割合
	個別施策	指標
③	肝炎に関する普及啓発、肝炎ウイルス検査陽性者へのフォローアップ・治療の推進	肝炎ウイルス検査受検率(国保加入者40歳検診対象者)
④	HPV及びワクチン接種について県民の理解の促進	HPVワクチン実施率
	個別施策	指標
⑤	がん検診の受診率向上に向けた取組	がん検診・精検受診率(胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん)
⑥	がん検診の職域における取組の促進	
⑦	がん検診の精度管理における取組の促進	がん精検受診率(胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん)(再掲)
		個別検診実施機関に関する事業計画の実施市町数

	個別施策	指標
⑧	拠点病院と地域の医療機関等との役割分担と連携強化の推進	がん拠点病院の診療実績(院内がん登録数、手術件数、薬物療法患者数、放射線治療患者数、緩和ケアチーム新規患者数、医療圏診療実績)
⑨	地域の実情に応じたがん医療の均てん化・集約化	
⑩	がんゲノム医療・小児・AYAがん医療、希少がん・難治性がん等の医療体制の整備	年間入院小児がん患者延べ数・外来小児がん患者延べ数・他施設から受け入れた小児がん患者数・小児がん患者の紹介を受けた医療機関数
		希少がん症例数
⑪	緩和ケアにおける地域連携への支援及び提供体制の整備	拠点病院等の緩和ケアチーム新規平均患者数
		身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分であると患者の割合等
		緩和ケア外来への地域の医療機関からの年間新規紹介患者数
		自施設でがん診療を受けている緩和ケア外来患者の年間新規診療患者数
⑫	人材の育成・確保	緩和ケアに関する地域連携を推進するために、地域の施設が開催する他職種連携カンファレンスに参加した年間回数
		緩和ケア研修会修了者数(拠点病院等以外の施設の医師・歯科医師)
		県内のがん等に関する医療従事者数(がん治療認定医等)

番号	中間アウトカム-(B) (分野アウトカムを達成するために必要な状態)	
(1)	がんの予防及び早期発見	
	指標	がんの年齢調整罹患率(人口10万対)
	指標	早期がん割合(全国がん登録;進展度・総合、上皮内と限局の割合)

番号	分野アウトカム-(A) (目指す姿)	
(1)	がんによる死亡率が減少している。	
	指標	がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)
	指標	5年相対生存率

	がん医療の充実	
(2)	指標	がんの診断・治療全体の総合的評価
	指標	納得のいく治療を選択できたと思うがん患者の割合
	指標	がんの標準的診療機能・集学的治療を担う医療機関数
	指標	院内がん登録数
	指標	手術件数
	指標	薬物療法患者数
	指標	放射線治療患者数
	指標	緩和ケアチーム新規患者数
	指標	医療圏診療実績

(2)	全てのがん患者の苦痛の軽減及び療養生活の質が維持向上している。	
	指標	身体的な苦痛を抱えていると思わないがん患者の割合
	指標	精神心理的な苦痛を抱えていると思わないがん患者の割合

番号	(C)施策
----	-------

番号	(B)中間アウトカム(分野アウトカムを達成するためにクリアすべきステップ)
----	---------------------------------------

番号	(A)分野アウトカム(あるべき姿)
----	-------------------

	個別施策	指標
⑬	相談支援体制の整備	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合 がん相談支援センターでの自施設・他施設からの新規相談件数 相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数 ピアサポーター養成数 患者サロン開催数
⑭	がん患者の就労支援	がんの治療等のために通院しながら働き続けられる環境にあると思う県民の割合 がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合 拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数
⑮	自殺リスクへの相談支援やがんの正しい理解に向けた普及啓発	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合 がんと診断されてから周囲に不必要に気を遣われていると感じる割合
⑯	小児・AYA世代のがん患者支援の充実	妊孕性温存療法・温存後生殖補助医療費助成件数 アピアランスケア助成件数 在宅ターミナルケア実施市町数・助成人数 妊孕性温存療法実施指定医療機関数
⑰	小児・AYA世代のがん医療提供体制の充実	年間入院小児がん患者延べ数・外来小児がん患者延べ数・他施設から受け入れた小児がん患者数・小児がん患者の紹介を受けた医療機関数(再掲)
⑱	小児・AYA世代のがん患者の保育環境・教育環境の充実	入院中の小・中・高校生に対する学習支援延べ件数
⑲	高齢がん患者とその家族等の療養生活を支えるための体制整備	人生会議(ACP)に係る認知度
⑳	学校におけるがん教育を推進するための環境整備	がんについての認知度

(3)	がん患者やその家族を支える環境整備
指標	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合
指標	がんやがん治療に伴う身体の苦痛や気持ちのつらさにより、日常生活を送る上で困っていることがない人

(3)	がんになっても安心して暮らすことが出来る社会が構築されている。
指標	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合